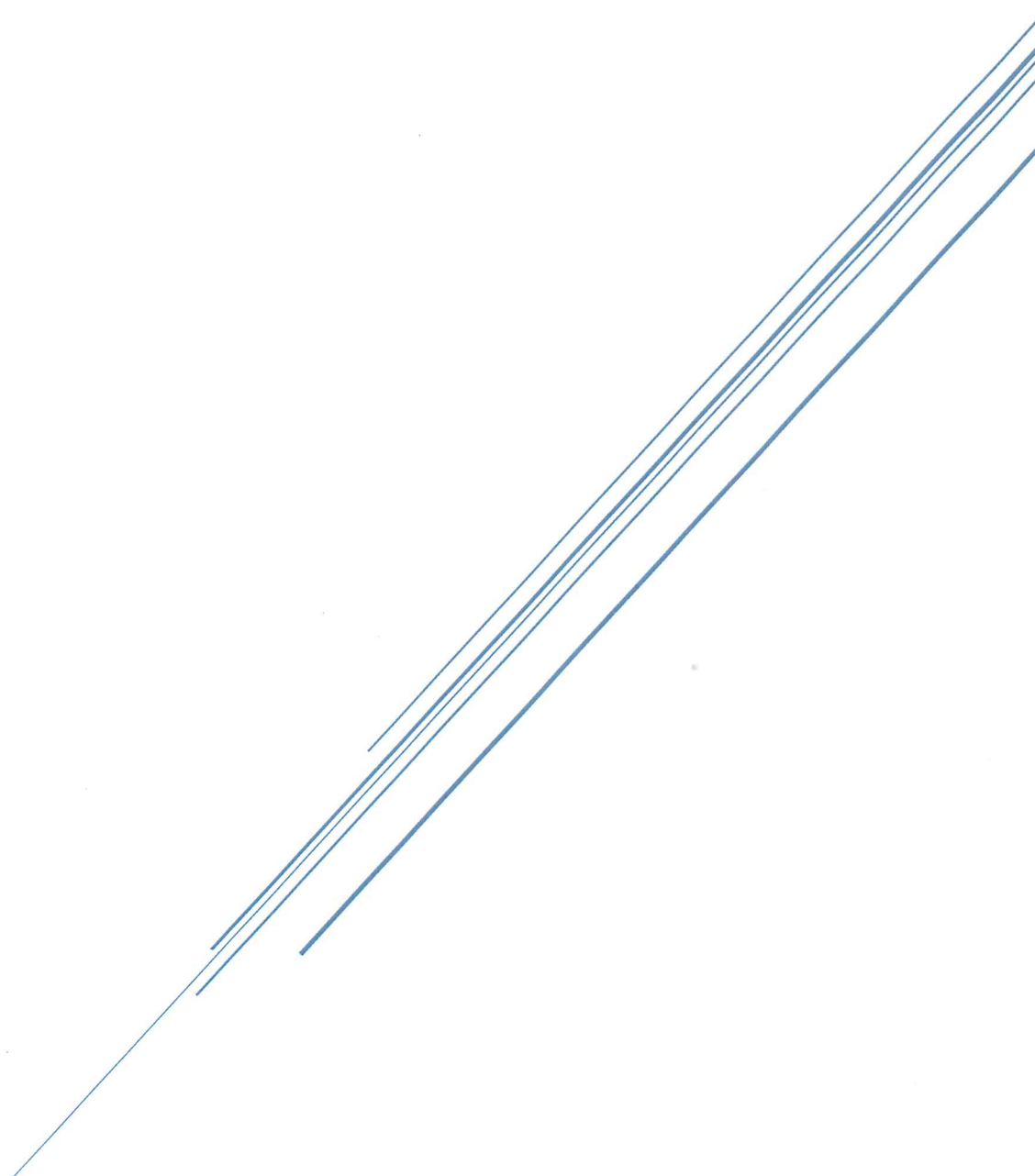


令和 5 年度事業報告

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日



一般財団法人國學院大學院友会

概要

令和5年度は、コロナ禍の行動制限も解除され社会活動は通常に戻った。本会においても、本部での各事業の再開、支部においては総会を中心とした活動が再開した一年となった。しかし、人の繋がりを第一とする本会においては、コロナ禍における活動の自粛期間の影響は大きく、一部では本格再開には至らなかった事業もあったことは否めない。

その反面、学生生活は従前の動きに戻りつつあったことから、学生への新たな支援や院友会館での課外活動の際の徹底サポートなど、新たな取り組みも積極的に行った。

令和5年度の各事業の概況は、次のとおりである。

【育成事業】

1. 國學院大學学生等支援

(1)「学術・スポーツ振興資金」制度による支援

理事会での決議に基づき、次のとおり支援を行った。

イ：学術部門

母校所蔵の貴重資料デジタル化に100,000円の支援を行った。

ロ：スポーツ部門

硬式野球部・陸上競技部（長距離部門）・柔道部に各700,000円、卓球部・ソフトテニス部には各300,000円の支援を行った。

令和6年度に向け、この制度における支援充実のために、

学術・スポーツ振興資金施行細則が一部改正され、新たに単年度での特別支援が可能となった。

これを受けて、第42回理事会（12月20日：水 開催）で令和6年度・令和7年度の対象団体が決定した。

「参考」

第42回理事会で決議された令和6年度・令和7年度の対象団体と支援額

イ：学術部門

母校所蔵の貴重資料デジタル化事業 100,000円

ロ：スポーツ部門

硬式野球部 1,000,000円 / 陸上競技部（長距離部門） 1,000,000円

柔道部 1,000,000円 / ソフトテニス部 500,000円

卓球部 300,000円 / 剣道部（単年度の特別支援） 200,000円

※支援額は令和6年度分で、令和7年度分は再度検討することとした。

(2) 教職を目指す学生の支援

教員を目指す学生に「学習指導要領」を贈呈し支援を行った。

渋谷キャンパス 合計105冊贈呈

たまプラーザキャンパス 合計400冊贈呈

(3)「院友会長賞」による支援（学生の部）

第43回理事会（令和6年3月27日：水 開催）において審議が行われ、次のとおり対象者が決定した。

平林 清澄 君（経営3年／陸上競技部）

令和6年2月25日に開催された大阪マラソン2024で優勝。初マラソン日本最高記録、日本学生最高記録、日本歴代7位、アジア歴代10位の記録を樹立したことによる



院友大会で行われた「学術・スポーツ振興資金」贈呈セレモニー



院友会長賞 贈呈セレモニー（令和4年度）

羽田野 啓太 君 (健体3年/柔道部)

令和6年3月8日から10日にかけて、オーストリアのリンツで開催された2024年グランプリ・アッパーオーストリア大会66kg級での優勝による

*贈呈は、令和6年度院友大会(令和6年5月25日:土開催)において行われる。

(4)大学が開催する若手OBOG・内定者による就職アドバイス会等への協力

今年度も、キャリアサポート主催で開催された。

開催日時:令和6年2月10日(土) アドバイス会 午後1時40分~4時50分

情報交換兼懇親 午後5時30分から

協力内容:キャリアサポート課と連携し、アドバイスに協力してくれた全OBOG・内定者への謝意、及びアドバイス会終了後の情報交換兼懇親の会場提供、更に初の試みとして参加学生(400名以上)へ就職活動に役立つグッズ(応援メッセージ付)を提供した。

(5)日本の伝統文化体験支援

学生、留学生を主な対象として、日本の伝統文化の学び・体験の機会等への支援を行った。

①5月13日(土) 国際交流課の茶道体験教室(会場提供)

②10月14日(土) 国際交流課の茶道体験教室(会場提供)

(6)協力団体「院友学術振興会」との協力連携

院友学術振興会との協力連携を通じ、学術の振興への寄与事業を行った。

学術振興を目的として、今年度も院友学術振興会へ特別支援を行った。これを基に「新國學 復刊第15号(通巻第19号)」が12月1日に発行、國學院大學図書館にも寄贈され学生の研究資料となっている。

■実施できなかった事業

➤國學院大學キャリア講座への協力

キャリアサポート課と連携で開催予定であったが、中止となった。

➤大学と連携した、学生の就職支援活動

本部が主体となり、支部の協力を得ながら実施予定であったが、本部の態勢が整わず実施できなかった。

2. 会館施設の貸与、又は経費の補助

育成事業に該当する学生の会館利用の際に、施設の貸与、又は経費の補助を行った。更に、コロナ禍で活動が自粛となっていた影響で、令和5年度に初めて会の運営を行うという学生からの声が聞こえたため、会館で行われる会合の際に用途に応じて準備段階から当日の会の運営に至るまで、できる限りのサポートを行った。(例:予算・会場設営・式次第のアドバイス等)又、学生部会等の諸活動の再開の一助として、特別補助(補助額の割増)の支援も行った。

補助対象 97件 合計補助金額 2,478,190円 内 特別補助対象 12件

3. 全国の高校生を対象とした文化事業の支援

國學院大學が主催する、全国の高校生を対象とした文化事業への協力を行った。

①「第27回全国高校生創作コンテスト」

②「第19回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」

それぞれのコンテストに協賛し、日本の将来を担う青少年の頑張りを応援した。

4. その他

令和4年度中の防災備蓄品の更新に伴い、学生生活の一助と応援の意味も込めて、旧備蓄食料品の配付を行った。希望の学生は、73名であった。



学生に配付した
旧備蓄食品

【講座・講演会事業】

1. 講座の開催

(1)『風土記を読む（第7期）～出雲國風土記を読む～』

前年度に続いて開催した。この講座は、令和5年度は第7期を迎えた。



- ・開講日 5月16日(火)・6月13日(火)・7月11日(火)
9月12日(火)・10月17日(火)・11月14日(火)
12月12日(火)・令和6年1月23日(水)
2月6日(火)・3月12日(火)
全10回 何れも午後1時30分～3時
- ・講師 谷口雅博氏(國學院大學文学部教授)
- ・会場 國學院大學院友会館 3階 大会議室
- ・申込者 26名

(2)院友学術振興会公開講座『國學院の古典』(第25回)

前年度に続いて開催した。令和5年度は通常開催とし、多くの参加者を迎えることができた。

・開講日、内容等

令和6年1月10日(水) ①午後1時～ ②午後2時50分～ 申込 74名 / 参加 68名

①古事記「序文の句『削偽定実』をめぐる』

講師：菅野雅雄氏(院友学術振興会会長)

②上代文学「ワニと竜-天皇神話における位置-」

講師：山崎かおり氏(國學院大學文学部兼任講師)

1月11日(木) 申込 54名 / 参加 50名

①源氏物語「源氏物語の女君たち-桐壺更衣の愛と死-」

講師：竹内正彦氏(國學院大學文学部教授)

②宗教社会学「信仰継承の現代的課題」

講師：冬月 律氏(道徳科学研究所主任研究員)

1月12日(金) 申込 78 / 参加 63名

①源氏物語「紫式部と藤原道長」

講師：浅川哲也氏(東京都立大学人文社会学部教授)

②上代文学「天孫降臨神話と山」

講師：渡邊 卓氏(國學院大學
研究開発推進機構准教授)

1月13日(土) 申込 45名 / 参加 38名

①民俗学「古代の儀礼-兎杖と兎槌-」

講師：大石泰夫氏(國學院大學
文学部教授)

②中国文学「中国における招魂呪術」

講師：浅野春二氏(國學院大學
文学部教授)

・会場 國學院大學院友会館 B1F 大ホール

(3)生活芸術講座(一般社団法人儀礼文化学会との共催事業)

儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的芸術的価値として「美」を考えていくもので、日本文化の形と心を考え体験する講座を開催した。

・開講日 10月8日(日)

・講師 西岡和彦氏(國學院大學神道文化学部教授)

・内容 「宗教の儀礼文化」

・会場 院友会館 B1F 大ホール



延べ500名の方から申込みがあった『國學院の古典』

- ・参加者 儀礼文化学会扱い 19名 / 國學院大學院友会扱い 6名 合計 25名
- (4)「公益事業実施規程」に基づく、『もっと日本を学ぼう』の統一テーマによる公益事業
 コロナ禍では規模縮小や自粛としていたが、令和5年度からは通常実施とし、次のとおり4支部主管の事業を行った。

《神奈川県支部》

- ・開催日 6月3日(土) 午後3時～5時
- ・講師 佐多芳彦氏 (94史・97博前史・101博後史/
立正大学教授/NHK大河ドラマ風俗考証担当)
- ・テーマ 時代劇の「リアル」とはなにか
—「鎌倉殿の13人」を例として—
- ・会場 鶴岡八幡宮直会殿
- ・来場者 約100名



《大分県支部》

- ・開催日 8月26日(土) 午後2時～4時
- ・講師 西村幸夫氏 (國學院大學観光まちづくり学部長・教授)
- ・テーマ 「地域の観光と交流」—魅力あるまちづくり—
- ・会場 大分センチュリーホテル
- ・来場者 約80名

《静岡県中部支部》

- ・開催日 9月2日(土) 午後1時45分～4時
- ・講師 矢部健太郎氏 (103史・105博前史・108博後史/國學院大學文学部長・教授)
- ・パネラー 矢部健太郎氏
松田香代子氏 (元 静岡市文化財保護審議会委員長)
宇佐美洋二氏 (静岡浅間神社権禰宣)
河合 修氏 (99史/静岡県スポーツ・文化観光部 文化局 文化財課)
- ・テーマ 戦国大名今川氏と稚児舞楽
- ・会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ
- ・来場者 約80名

《静岡県西部支部》

- ・開催日 令和6年3月2日(土) 午後3時～4時30分
- ・講師 前田康弘氏 (國學院大學陸上競技部監督)
- ・テーマ 「指導論や育成論、現代の子どもとの接し方」
- ・会場 静岡新聞ホール
- ・来場者 約100名

(5)サロンコンサート

音楽を通じて地域の多くの方々に、豊かな人間性と感性を養っていただきたいという願いで行っており、毎回多くの来場者がある。令和5年度も、引き続き地域社会への貢献として開催した。令和5年度は2回開催したが、内1回はコロナ禍で発表の場が制限されてしまった学生のサークルに出演を依頼した。

《第28回サロンコンサート》

- ・開催日 12月23日(土) 午後2時～3時15分
- ・タイトル 「みんなで唄おう! ~今も愛される昭和の名曲!!~」
- ・出演 高原紳輔 (ヴォーカル)・獅子丸 (ヴォーカル)
- ・会場 院友会館 1F ロビー
- ・来場者 72名

・備考 株式会社アリアに企画依頼
《第29回サロンコンサート》

・開催日 令和6年3月2日(土) 午後2時～3時



素晴らしい音色を聞かせてくれた青葉雅楽会のステージ

- ・タイトル 「伝統と美の調べ
～心に響く、雅楽の音色～」
- ・出演 國學院大學青葉雅楽会
- ・会場 院友会館 1Fロビー
- ・来場者 70名
- ・備考 アンケートによると、来場者の評価も良好であった。又、出演した学生も発表の機会を得て喜んでおり、学生支援の一助になったと思われる。

■実施できなかった事業

➢新規講座・講演会等の実施

事業計画において、時節にかなった新たな講座や講演会の開催を掲げていたが、事務局事情により実施できなかった。

【会館施設提供事業】

本法人が有する「院友会館」が、地域の方々の交流の場となり更に地域が活性化するよう、これを目的とした利用の際の支援を行った。

補助対象 58件 合計補助金額 958,100円

《主な対象実績》

遠州流茶道教室 / 広尾高等学校 / 山種美術館 / 公益財団法人 重複障害教育研究所 / 他

【特定寄附】

國學院大學学生への奨学基金、及び國學院大學が実施する社会貢献事業（全国の高校生を対象とした文化事業）への協力として、合計1,200,000円の寄附を行った。

【同窓会事業】

本法人の主たる事業である同窓会事業について、次のとおり実施した。

1. 会報発行発送事業

事業計画どおり、3号の院友会報を発行した。

(1) 384号（残暑見舞号）

8月10日付発行、8月下旬発送。全8面、96,350部。住所判明者全員に送付。

(2) 385号（新年号）

令和6年1月1日付発行、令和5年12月下旬発送。全8面、26,100部。当年度内、寄付金・会費等納入者限定で送付

(3) 386号（新院友歓迎号）

令和6年3月20日付発行、3月下旬発送。全8面、100,500部。住所判明者全員に送付。

2. 会員統括組織化事業

コロナ禍が終わったが、通常実施に至らなかった事業も一部あった。全国各地での久々の集いにおいては、喜びの声が多く聞かれた。

(1)支部長会議（第43回）を開催

- ・日 時 5月27日（土）
午後1時30分～4時30分
- ・会 場 國學院大學渋谷キャンパス
学術メディアセンター常磐松ホール
- ・概 要 59支部中 57支部出席
4協力団体すべて出席
オンライン参加者 2名
総勢72名参加（オンライン参加者・
来賓・主催側含む）



- ・講演会 院友会運営、大学の現況報告、支部の現状報告が行われた
会議終了後実施（支部長会議出席者
対象）

- 講 師 鳥山泰孝 氏
(106法/硬式野球部監督)
- 演 題 『勝つためのチームづくり、
及びチームマネジメントに
ついて』
- 備 考 講演録を作成し、全支部
及び全協力団体に配付した



鳥山監督を招いての講演会

(2)令和5年度院友大会を開催

- ・日 時 5月27日（土）午後5時～6時30分
- ・会 場 國學院大學院友会館 B1F 大ホール



- ・概 要 出席者 約160名
参加費 1人 5,000円（※支部長
会議出席者は招待：大学の協力に
よる）
令和4年度院友会長賞、令和5年度
学術・スポーツ振興資金の贈呈も行っ
た。

(3)ホームカミングデーへの協力

- ・日 時 10月9日（月・スポーツの日）
- ・会 場 國學院大學渋谷キャンパス
- ・来場者 約1,000名
- ・企 画 大学内の実施準備委員会での検討により、次のとおり多くの企画が実施された
針本正行学長による特別記念講演 / 図書館貴重図書展示
町田 樹 助教 特別講演 / 博物館ミュージアムトーク
出雲駅伝パブリックビューイング / 卒業アルバム展示
卒業生・在学生オリジナル企画&同窓会 / 國學院ジャンボかるた大会
院友会全国支部物産展
⇒ 北海道道北・北海道道南・栃木県・千葉県・埼玉県北・長野県の6支部が
参加。他に、滝川市・國學院大學生活協同組合の参加協力があつた。

【若木育成会キャンパス見学会】

※大学からの依頼により、キャンパス見学会の企画の一つとして物産展を行った。

- ・日 時 10月21日(土)
- ・会 場 國學院大學渋谷キャンパス
- ・来場者 1,360名
- ・企 画 模擬授業 / 就職ガイダンス / 留学ガイダンス
院友会全国支部物産展

⇒ 北海道道東・栃木県・千葉県・石川県・長崎県の5支部が参加。他に、國學院大學生活協同組合の参加協力があった。



令和5年度ホームカミングデー



令和5年度キャンパス見学会

(4) 新年院友交歓会を開催

- ・日 時 令和6年1月27日(土) 17:00~
- ・会 場 國學院大學院友会館 B1F 大ホール
- ・概 要 出席者 約150名
参加費 1人 6,000円
学術・スポーツ振興資金で支援する学生の報告や、全學應援團の特別リーダー公開を行った。

(5) 公式ホームページの活用

インターネットによる情報発信は必要不可欠であり、本会においてはまだまだ十分とは言えないが最新の情報と共に“國學院の今”を発信した。

「ニュース」 21件 ※学内動向、寄贈図書、院友会合等が中心

「お知らせ」 76件 ※支部総会開催告知等が中心

「X(旧 Twitter)」 101ポスト ※運動部結果速報、会館の様子、近隣の様子等が中心

(6) 院友会員のデータ管理

院友会報の発送先調査や、ホームページでの住所変更届等による会員情報の更新を行った。

① 会員情報の更新件数

4月 435件 / 5月 294件 / 6月 549件 / 7月 105件 / 8月 168件 / 9月 289件
10月 156件 / 11月 135件 / 12月 118件 / 1月 172件 / 2月 52件 / 3月 66件
合計 2,539件

② 個人情報の取扱いについては、厳格な手続きを行った。提供の際も、書面で遣り取りの上パスワードを用いた提供等慎重な対応を採った。

(7) 各支部総会等への出席

各地で、支部総会が本格的に再開した。開催の際は、業務執行理事を中心に積極的に参加した。ただし、一部では現地院友のみでの開催という支部もあった。

(8) 支部活動について

① 支部総会等の開催状況

自粛やオンライン開催も想定はしていたが、令和5年度は対面開催が基本となった。

支部等総会開催 50 支部・2 協力団体

部会等総会開催 14 部会

(院友神職会も含む)

②次の支部で支部長の交代があった。尚、支部長を勇退された方には感謝状を贈り謝意を表すことが理事会で承認された。

山形県支部・東京都二十三区支部・愛知県支部

三重県支部・兵庫県支部・岡山県支部

広島県支部・山口県支部・鹿児島県支部・沖縄県支部

※沖縄県支部は、令和6年4月1日から

③次の協力団体で代表の交代があった。尚、代表を勇退された方には感謝状を贈り謝意を表すことが理事会で承認された。

院友経済会

(9)「支部運営費」

令和5年度も、支部活動の一助を目的として「支部運営費に関する内規」に基づき支部運営費を交付した。ただし、コロナ禍の影響で活動自粛や縮小となった令和4年度分を、令和5年度に繰越しての使用も可とし、これを〈預け金〉としていたことから、この取扱いについては慎重を期した。最終的に、年度末には次のとおりの状況となった。

・「令和5年度支部運営費」 合計 1,525,000 円

※該当支部において令和5年中に全て使用済。

・「令和4年度末支部運営費預け金」 合計 165,439 円 (令和4年度末時点)

※該当支部において令和5年中に全て使用済。預け金残高は0円となった。

(10)院友の交流

共通の趣味を通じた交流も行った。



・院友会ゴルフクラブ第70回記念コンペ開催

➢開催日 令和5年9月5日(火)

➢場所 富士小山ゴルフクラブ

➢参加者 44名

・院友会ゴルフクラブ第71回コンペ開催

➢開催日 令和6年3月5日(火)

➢場所 レイクウッドゴルフクラブ

➢参加者 22名

(11)その他

支部総会等出席者への記念品として、「ノック式油性ボールペン(エコ素材使用)」を作製した。

3. 同窓会事業共通

(1)「院友会長賞」による支援(院友の部)

第43回理事会(令和6年3月27日:水開催)において審議が行われ、次のとおり対象者が決定した。

武岡 毅氏(130日文/パーク24/柔道部OB)

令和6年2月2日に、フランスで開催されたグランドスラムパリ大会66kg級で初優勝。

柔道世界選手権2024の最終選考会を兼ねた全日本選抜柔道体重別選手権大会(令和6年4月)にも出場。この大会では敗れたが、國學院大學柔道部初となる世界選手権日本代表に選出された。

(2)大学への協力・連携

次のとおり協力等を行った。

・神職養成講習会への協力



令和5年度宮城県支部総会の様子

夏期の講習会（第149回）では受入れを見送ったが、春期の講習会（第150回）から受入れを再開した。コロナ禍前と同様のサービスは提供できなかったが、終了後の利用者からのアンケートによると概ね好評であった。

- ・院友子弟等特別選考入学試験制度の広報
- ・國學院カードに関する広報
- ・國學院大學博物館に関する広報
- ・エクステンション事業課の事業に関する広報

以上の項目については、主に院友会報で広報活動を行った。

- ・入学試験の際の試験監督助勢

A日程入学試験の際、できる限りの助勢を行った。

- ・他

➢第6回オール國學院親睦ソフトボール大会の開催の際、日頃の感謝の意を込めて懇親会に協賛した。

➢大学卒業式当日、卒業証書授与後に開催された全学部の卒業祝賀会に、業務執行理事等が出席した。祝意を表すとともに、新院友となった卒業生に対し直接メッセージを贈ることができた貴重な場となった。

➢学校法人國學院大學、及び学校法人國學院大學 栃木学園が設置する学校や園に対しても、卒業式・卒園式の際に祝花を贈り祝意を表した。



文学部卒業祝賀会の様子

(3) 校友課との連携

一部の支部で、総会・懇親会の際に若木育成会会員との交流を図った支部があった。10月21日（土）に開催された若木育成会キャンパス見学会においても、5支部と國學院大學生活協同組合の協力を得て、「院友会全国支部物産展」を実施した。

院友名簿のメンテナンス等についても連携を行った。

(4) 院友の図書を受入と整理

院友の方等から37冊の寄贈を受けた。これらは、ホームページで紹介させていただいた。

(5) 協力団体との連携

院友経済会が積極的に行っている学生支援事業の情宣、院友学術振興会との連携による「公開講座 - 國學院の古典 -」について取り組んだ。特に、令和6年1月に開催された「公開講座 - 國學院の古典 -」は、これまでと同様に案内状の発送から受講申込み受付・当日の運営も主体的に携わった。

(6) 会員へのサービス

次のとおりのサービスを行った。

- ・電報サービス

結婚、叙勲、褒章、褒賞等へ祝電を贈った。

- ・院友会報におけるプレゼント企画

①384号（残暑見舞号）

國學院大學エコBeeプロジェクト 万葉はちみつ

応募 80名 / 当選 10名

②385号（新年号）

國學院大學名入り 輪島塗箸2膳セット

応募 25名 / 当選 10名

③386号（新院友歓迎号）

イラスト&図解 知識ゼロでも楽しく読める！ 源氏物語（竹内正彦教授直筆サイン入り）

応募 60名以上 / 当選 10名



385号（新年号）のプレゼント
國學院大學名入り 輪島塗箸2膳セット

國學院クッキー 132期生限定 応募2名 / 当選5名

(7)会費・寄付金等納入促進

院友会報の発送の際に、合わせて納入依頼を行った。しかし、会費・寄付金共に前年度の決算額を下回る結果となった。ただし、これまでと同じく支部・神社単位で納入の協力が得られたことは、特筆すべき事項である。

・受取会費 56,241,000円 (前年比 4,726,110円減益 / ※内2,800,000円は、代理徴収分の減益)

・受取寄付金 3,227,600円 (前年比 400,685円減益)

(8)研修等の実施

業務に必要なセミナー、研修、説明会への参加を奨励した。又、当初は職員の研修も実施予定であったが、これは事務局事情により実施が叶わなかった。

《参加セミナーの例》税務・社会保険・労働保険関連のセミナー・講習会

(9)その他

ご案内をいただいた神社の祭典等はできる限る参列した。参列が叶わなかった際には、電報等で祝意を表した。

【収益事業】

各界の多くの皆さまに会館をご利用いただくことができた。その結果、収益は年度当初予算額を超えるものとなった。しかし、コロナ禍前の収益には至らず、これは次年度以降の大きな課題と言える。又、設備改修のため会館修繕積立金の一部取崩しを実施した。

(1)会館事業収益

収益合計 13,379,683円 前年度比 4,366,691円増 (令和4年度 9,012,992円)

※参考：令和元年度 会館事業収益 31,332,008円

(2)現状の会館事業収益を踏まえた宿直アルバイト勤務態勢

現状では、コロナ禍前の収益には至っていないことと監査時のアドバイスもあり、調整しながらの勤務対応とした。これを実施する前は、会館の稼働状況が芳しくなく人件費が収益を大幅に上回っていた。しかし、令和5年度はこれを是正することができた。

(3)会館修繕積立金の一部取崩しと新規積立

館内電話設備の改修のため、1,100,000円の取崩しを行った。しかし、年度末に2,000,000円強の積立も実施した。

会館も、竣工後の経年を考えると近い将来一定規模の修繕も予想されることから、この積立金への取組みも必要となっており、この点についても今後の対策が必要となっている。

【法人事業】

本法人の健全運営のため、法人法及び定款に基づき確実な手続きを行った。

(1)定期提出書類「公益目的支出計画実施報告書」について

6月29日に電子申請により提出。10月24日に手続きが完了した。※修正依頼等は無かった。

(2)業務執行理事連絡会議について

次のとおり開催した。

①5月9日(火) 國學院大學院友会館 2階 小会議室

〈協議事項〉

➢第41回理事会に関する件、第12回定時評議員会に関する件

〈報告事項〉

➢令和4年度事業等に関する監査について(下半期分)

②12月6日(水) 國學院大學院友会館 2階 小会議室

〈協議事項〉

➢学術・スポーツ振興資金施行細則一部改正の件、第42回理事会に関する件

〈報告事項〉

➢令和5年度事業等に関する監査について（上半期分） 他

③令和6年3月14日（木） 國學院大學院友会館 2階 小会議室

〈協議事項〉

➢第43回理事会に関する件、令和6年度上半期 会議日程に関する件、他、報告事項

(3)監査について

次のとおり行われた。

①4月27日（木） 令和4年度下半期分事業等 國學院大學院友会館 2階 小会議室

②11月28日（火） 令和5年度上半期分事業等 國學院大學院友会館 2階 小会議室

(4)評議員会について

次のとおり開催した。

6月22日（木） 國學院大學院友会館 B1階 大ホール

出席状況等：評議員総数 28名（定足数 15名） / 出席評議員 18名

出席理事 19名 / 出席監事 3名

〈評議員会の決議の目的である事項 / ※承認〉

➢令和4年度決算の件《貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)の承認》

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢理事退任について 他12件

(5)理事会について

次のとおり開催した。

①5月18日（木） 國學院大學院友会館 3階 大会議室

出席状況等：理事総数 25名（定足数 13名） / 出席理事 22名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

➢令和4年度事業報告の件 ➢令和4年度決算の件

➢令和4年度公益目的支出計画実施報告書の件 ➢支部長承認の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告、他3件

②12月20日（火） 國學院大學院友会館 3階 大会議室

出席状況等：理事総数 25名（定足数 13名） / 出席理事 20名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

➢支部長承認の件 ➢令和6年度支部長会議開催の件

➢令和6年度一般公開講演会開催の件 ➢令和6年度院友大会開催の件

➢令和6年度・令和7年度 学術・スポーツ振興資金の対象団体、及び助成額の件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢令和4年度公益目的支出計画実施報告書について、他7件

③令和6年3月27日（木） 國學院大學院友会館 3階 大会議室

出席状況等：理事総数 25名（定足数 13名） / 出席理事 17名 / 出席監事 3名

〈決議事項 / ※すべて承認〉

➢令和5年度補正予算の件 ➢令和5年度院友会長賞の件 ➢支部長交代の件

➢福島県三支部合併に関する件 ➢令和6年度事業計画の件 ➢令和6年度予算の件

➢令和6年度表彰者の件 ➢第13回評議員会（定時）招集に関する件

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢顧問の退任について、他5件

(6)個人情報保護委員会について

次のとおり開催した。

令和6年3月27日(木) 國學院大學院友会館 2階 小会議室

出席状況等：個人情報保護委員総数 4名 / 出席委員 4名 / 出席事務局担当者 2名

〈審議事項 / ※すべて承認〉

➢一般財団法人國學院大學院友会個人情報保護基本方針の一部見直しの件、他

〈報告事項 / ※すべて了承〉

➢個人情報の第三者提供について、他

(7)基金積立について

新たに、1,000,000円の積立を実施した。令和6年3月31日現在、111,052,196円となっている。

【その他 共通事項等】



消火器取扱いの確認を実施

(1)危機管理について

令和6年2月1日(木)に、職員と宿直アルバイトが参加し防災訓練の一環として火災報知器の作動と確認、及び復旧方法、更に消火器の取扱い方法について訓練を行った。

来館者に安心の場を提供するため、衛生面での徹底した対策も講じた。その結果、今日まで当会館における会合等を発端とする感染症の発症報告はない。

(2)職員の採用について

事務局において、後継者と成り得る人材1名を9月1日付で中途採用した。

(3)職員の休職について

事務局において、専任職員1名の休職があったため、その対応と一連の事務処理に大きな労力を要することとなった。本来であれば、コロナ禍が終わり新たなスタートの年度となる予定であったが、諸事業において現状維持を保つのが精一杯の年となった。

■実施できなかった事業

➢新規講座・講演会等の実施

事業計画において、新たな中期計画の作成、本会発足140周年(令和8年・2026年)に向けた事業の検討を掲げていたが、事務局事情により実施できなかった。

【附属明細書】

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が無いため、附属明細書は作成いたしません。

以上